R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY28-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#B18

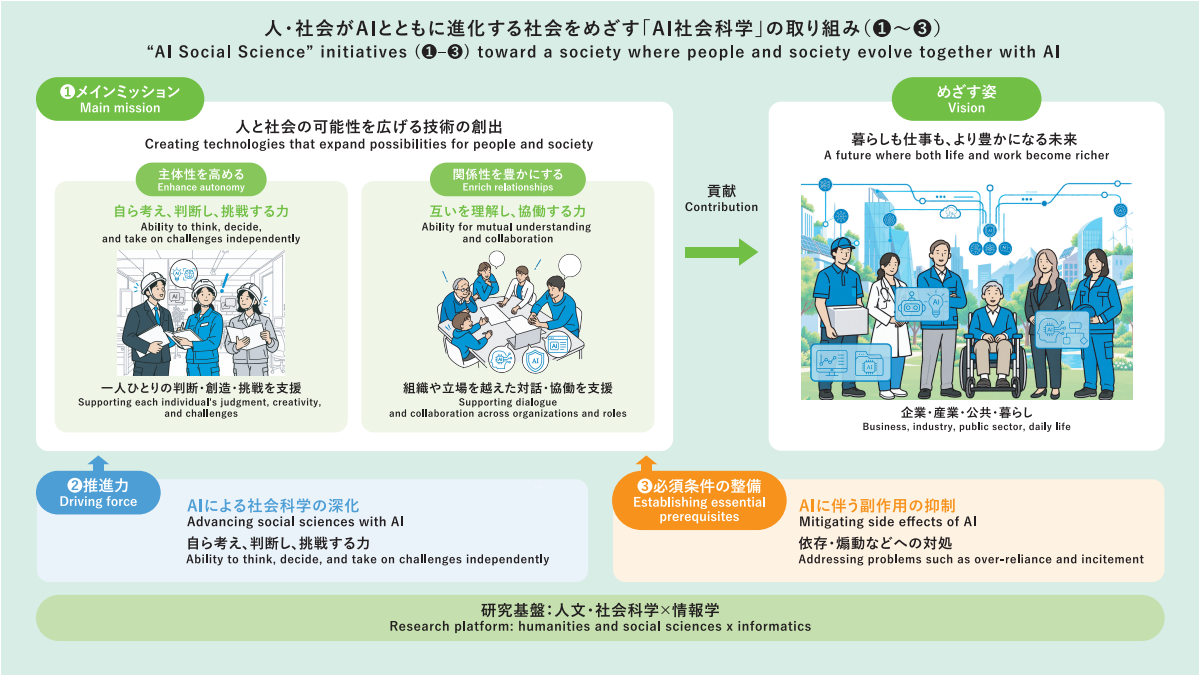
#AI倫理・責任あるAI#健康・ウェルビーイング#サイバーセキュリティ

人・社会とAIの共進化を支える技術

健全なAI活用を促進し人・社会のよりよいあり方を支える技術で、新たな価値の創出に貢献します

技術課題・ゴール

AIにより人と社会の可能性が広がっています。誰もが豊かに生きられる未来に向けて、一人ひとりが主体性を発揮して多様な人々やAIと協働していくことが重要です。人文・社会科学と情報学を融合し、人と社会の望ましいあり方の探究と、それを支える技術の研究を循環的に進めます。AIによる社会科学の研究方法の革新と、AIに伴う副作用の抑制にも取り組み、人と社会がAIと共に進化するための知見・技術を創出します。



技術ポイント

要素技術

- 人と社会のよい状態の指標としてのウェルビーイング研究と、人々とAIの協働を促すHuman-AI Interaction技術
- 人の認知・心理と情報のかかわりの解明に基づくコグニティブセキュリティ研究

市中技術差異点

- ウェルビーイング研究の蓄積による人と社会のよい状態の考え方の社会への浸透・合意とそれに基づく技術開発
- AIがユーザへ提供する情報を最適化するアプローチと異なり、ユーザの主体的な思考・判断を支援

適用ビジネス/ユースケース

公共サービス・自治体

地域活性化や街づくりにおいて、住民や観光客等と地域資源・コミュニティ等とのつながりを作り、地域・社会への参加といった利他的な行動を自然に促します。職場などにおいても、社会との幅広いつながりによる多様な価値観形成を通して、社員の創造性やモチベーションの向上に寄与します。

出展組織

NTT株式会社 社会情報研究所